

令和5年度事業実施報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

はじめに

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、自粛の続いていた様々な活動が活気づき、個人消費は持ち直し、訪日外国人が増えインバウンド効果により日本の経済活動は緩やかな回復に向かいました。

一方で、原材料やエネルギー価格の上昇、円安基調の継続により、燃料費・製造コスト・物流費等の高騰に次いで、生活に直結する光熱・食料はじめ諸物価も相次いで高騰し、消費活動に大きな影響が出ています。

令和5年度は、この様に極めて困難な時代を生き抜くには、次代を担う大切な子供たちが学校給食を通じて、自身の健康を自己管理できる心身ともに強い成人となるための育成がこれまで以上に重要です。このことをふまえて、児童生徒への食に関する指導が、正しい食に関する理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものとなります。

これらのことにかんがみ、当協会は学校における食育推進の中核となる栄養教諭等の資質向上およびその取組への支援活動をさらに進めているところであります。

一方で、主要食育活動である調理講習会は、協会作成の調理動画を使用するなど各県代表者・責任者と密に連絡を取りながら17県(20ヶ所)で実施、親子料理教室は15県(44ヶ所)で実施する事ができました。

又、子供たちの健全な食生活の習得および定着を図るための学習支援ソフト」の開発に着手いたしました。

尚、農林水産省がJミルクと協同で立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」に参加し、牛乳・乳製品の消費拡大と国内酪農家支援に向けて、その輪を広げるべく取り組みました。

公益社団法人全国学校栄養士協議会(以下全学栄)との定例学校給食用食品開発会議では、全学栄製品・全学栄すいせん製品の原材料の産地変更、リニューアル・スクラップ等の審議を進めました。

非常食第5弾「救給ゴロゴロ野菜の煮物」を令和5年(2023年)4月に全学栄の多大な協力と支援を得て、新規発売いたしました。また、「救給五目ごはん」に替わる製品として「救給おいもの和風リゾット」の開発に着手いたしました。

ホームページにつきましては、当協会の様々な活動内容、来訪者が知りたい・求めている学校給食レシピや最新の学校給食・食育関連情報、その他実際に役立つニュースを心がけて幅広く取り上げ、リアルタイムで発信しております。

詳細につきましては、以下のとおり報告いたします。

公 食育推進事業

I. 食育の推進に関する活動

1. 普及活動

(1) 調理講習会

開催状況： 開催予定 18 県に対し、実施 17 県 20 ヶ所 参加者 534 名
(前年実績：実施 10 県 12 ヶ所 参加者 334 名)

(2) 親子料理教室

開催状況： 開催予定 16 県に対し、実施 15 県 44 ヶ所 参加者 2,561 名

(前年実績：実施 12 県 31 ヶ所 参加者 2,439 名)

(3) 講師の紹介及び派遣

(公社)全国学校栄養士協議会や県学校栄養士会の要請により研修会や調理講習会に講師の紹介及び講師の派遣をしました。

○調理講習会への講師派遣

<講師> 管理栄養士 酒井淳子氏
長野県、愛知県、島根県、広島県

<講師> 栄養士 岩島由美子氏
神奈川県、岡山県、佐賀県、沖縄県

(4) 食育推進支援活動

困難な時代を生き抜くことのできる強い意志と丈夫な身体をもつ大人を育てるために、健全な生活習慣と食に関する自己管理能力を身につけるための活動です。

(5) 新規「食育用ソフトウェア」の開発

昨今の、予想をはるかに越えた困難な時代を生き抜くためには、自身の生活を自己管理し、心身の健康の維持増進を図れる国民の育成が喫緊の課題となっています。そこで、当協会は、学校現場および幅広いジャンルの最新情報を収集し、これらの情報を基にして児童生徒・青少年などすべての国民の「健全な食生活の習得および定着を図るための学習支援ソフト」の開発をスタート、幅広い利活用に向けて進めているところです。

2. 広報活動

(1) 「日本の学校給食」パンフレット4ヶ国語版の活用

日本の学校給食パンフレットは日本語版に続き、英語版・中国語版・韓国語版の4ヶ国語を作成しております。世界一と言われる素晴らしい日本の学校給食の取組を、様々なルートを通じて国内外に幅広く広報発信しております。その効果として、アメリカや台湾・中国などのメディアで、当協会の活動記事が紹介されるようになりました。

(2) 機関情報紙「すこやか情報便」の発行

諸般の事情により、行っておりません。

(3) ホームページの活用

協会の活動内容及び学校給食・食育関連の最新情報をリアルタイムで発信しており、国内外の学校教育関係者はじめ多くの方々にご訪問いただいております。

令和5年度にリニューアル工事をしたページは下記の通りです。

- ・レシピ掲載ページにて、カテゴリーのラベル「アレルギー特定原材料8品」に「くすみ」を追加
- ・「書籍のご案内」ページを開設

(4) ニュースレターの拡充

大きな新規食育推進活動の開始など諸般の事情により、ただ今中断しております。

(5) 学校給食・食育をテーマとした各種大会への参加

新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン開催が続いておりましたが、令和5年度よりほとんどの大会が対面開催となりました。

【令和5年度に行われた各種大会】

名称	日程	場所	備考
春のキッズフェスタ	2023/5/27	東京都	開催
第18回食育推進全国大会	2023/6/24~25	富山県	開催
第64回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	2023/8/3~4	鳥取県	開催
フードシステムソリューション 2023	2023/9/20~22	東京都	開催
第74回全国学校給食研究協議大会	2023/10/19~20	東京都	開催
第7回栄養教諭食育研究大会	2023/12/3	岐阜県	開催

上記に加えて、オンラインで開催されたその他の研修会、講演会等各種セミナーにも多数参加しました。

II. 学校給食事業に関する助成

1. 下記の団体に対し事業運営費の助成を行いました。【敬称略】

- (1) (公社) 全国学校栄養士協議会 (会長 長島美保子)
- (2) 栄養教諭食育研究会 (代表幹事 金田雅代)

* 一般社団法人日本学校調理師会 (会長 平賀幸子) は、「食の安全に関する調理員講習会」の開催中止につき助成は見合わせました。

III. 学校給食の状況に関する調査研究等の活動

1. 給食関係者との連携強化

品質等調査研究員 (モニター) 制度は、(公社)全国学校栄養士協議会の協力を得て 47 都道府県の栄養教諭・学校栄養職員の先生方をモニターとしてご推薦いただき、任期 2 年の間に学校給食の食材等に関する現場における貴重な意見や提言をいただく制度です。

第 12 回目の今期 (令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月) の後半は、引き続き感染症の防止を意識せざるを得ない年でしたが、167 件もの貴重なご報告を頂きました。

令和 6 年度以降は、調理講習会のアンケート内容を充実させることで、品質等調査研究員 (モニター) 制度は中止いたします。

2. 海外の学校給食事情視察研修

昨今の世界情勢を鑑み、今年度につきましても実施には至りませんでした。今後の世界情勢につきましても予測不可能なことから、当分の間休止いたします。

IV. 給食物資に関する調査研究並びに供給

1. 学校給食用優良食品の開発研究

令和 5 年度は、(公社) 全国学校栄養士協議会との共同事業である「学校給食用食品開発会議」は対面開催 1 回、オンライン開催 3 回の合計 4 回会合を持ち、以下の取組を進めました。

- (1) 災害時の学校給食用非常食の開発については、令和元年より開発に取り組みました「救給ゴロゴロ野菜の煮物」が完成し、令和 5 年 4 月より発売を開始しました。また、「救給五目ごはん」に替わる製品として「救給おいもの和風リゾット」の開発に着手しました。令

和6年9月発売の予定です。

- (2) 上記テーマと併せて実施している全学栄製品・全学栄すいせん製品の開発改良の取組については主眼をおき、進めて参りました。

2. 全学栄製品・全学栄すいせん製品の変更内容と工場査察実施状況

- (1) 本年度は(公社)全国学校栄養士協議会理事会において、18件の全学栄製品及び全学栄すいせん製品の安定供給のため主要原材料の産地変更・配合変更等を報告し、承認を頂きました。
- (2) 「全学栄関連製品 製造工場認定基準」により7メーカー、8工場の製造工場査察を実施しました。

3. 学校給食用脱脂粉乳供給事業

良質なたんぱく質や不足しがちなミネラルが含まれ、児童・生徒の健康と成長に大きく寄与している、安全で安心な脱脂粉乳を、関税無税の措置を受けて本年度もニュージーランドより輸入し、各都府県の学校給食会（以下各県給）へお届けしてまいりました。

円安及び世界的なインフレに伴う物価の高騰等があり、事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況で、輸入脱脂粉乳の価格が大きく上昇し、国産脱脂粉乳との価格差が縮小しました。よって、国産脱脂粉乳へ切り替える動きが増え、供給物量は大幅に減少しました。

4. その他関連省庁・組織・団体との連携

学校給食に関する様々な取り組みを文部科学省、農林水産省、(公社)全国学校栄養士協議会、栄養教諭食育研究会、(一社)全国学校給食推進連合会、(公財)都道府県学校給食会、(一社)Jミルク、その他関係諸団体と連携し推進してまいりました。

V. その他

1. 「学校給食普及改善委員会」について

全国各ブロックから学校給食普及改善委員の方々（栄養教諭・学校給食会関係者）にお集まり頂き、対面形式で開催いたしました。

頂戴した現場における有意義なご意見や取組事例は、今後の当協会の取組に活用させていただきます。

なお現委員の任期は、令和5年度までの予定でしたが、1年間延長を依頼予定しております。

以上